



©東京大学新聞社2012
毎週火曜日 発行
4頁 定価 170円
(本体価格162円)

駐日英国大使が東大で講演

GLS公開セミナー 日英協調を重視

駐日英国大使のサー・テ
イビッド・ウォレン氏が9
日、本郷キャンパスで講演
し、約95人が聞き入った。
UK/Japan relations in
a changing world? の
演題で、日英の産業、教育、
防衛、資源のさまざまな分
野での協調が重要だと主
張。北岡伸一東大名誉教授
もコメンテーターとして出
演し、大使の講演後に現代
の国際関係から見た日英関
係について発言した。
講演は法学政治学研究科
・法学部グローバル・リー
ダーシップ(GLS)寄付
講座の公開セミナーとして
実施されたもので、全て英
語で行われた。大使は日英
関係史を振り返った後、4
月の日英首脳会議で確認し
た「世界の繁栄と安全保障」
の重要性を、北朝鮮問題な
ど東アジアの問題を例に解
説した。北岡氏も中国の成
長は国際社会に影響を与え
ると述べた。尖閣問題など、
日中関係の諸問題に触
れる場面もあった。
二人が中国を話題に挙げ
たため、講演後の聴講者か
らの質疑応答では尖閣諸島

に関する質問が相次いだ。
大使に「日本の外交姿勢に
対して個人的にどう思う
か」という質問も出た。
サー・テイビッド・ウォ
レン大使は75年に英国外務
省に入省し、日本および東
アジア情勢を担当。駐日英
国大使館で大使秘書官、英
国外務省人事政策部、欧州
共同体部などを経て08年よ
り現職。2年間日本語を学
び、過去に2度の日本赴任
経験を持つ。

GLS寄付講座は法学政
治学研究科・法学部が所管
し、学部生、院生向け講義・



参加者の質問に一つずつ丁寧に答える
ウォレン大使

演習のほか、年に数度、連
続公開セミナーを実施して
いる。今回は12年度6回目
のセミナーで、通算16回
c.jp/で確認せよ。

www.gls.j.u-tokyo.a
c.jp/で確認せよ。